

「水災害に関する減災会議」について

1. 目 的

能登半島豪雨をはじめ「激甚化・頻発化」する水災害に備えるにあたり、避難情報を発信する「市町村」とあらかじめ避難判断に関する防災情報を互いに共有しておくことにより、住民の確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取り組む。

2. 概 要

1) 日 時：令和6年12月24日（火）14：00～

2) 出席者：24市町村長

国土交通省（徳島河川国道事務所長、那賀川河川事務所長）

3) 場 所：県庁10階 大会議室

4) 内 容：

- ①中小河川での「緊急点検結果」の報告（5河川）
- ②中小河川の「洪水浸水想定区域図」の活用
- ③「河川監視カメラ・水位計」の配備状況
- ④「土砂災害警戒区域」の新たな指定に向けた基礎調査の実施（3,895箇所）
- ⑤受信側から見た「SNS」での情報（ダム放流）発信 など